

1 ブロック単位で取組の実践交流・協議

「児童会・生徒会交流集会の取組」

【取組の方向付け】

児童会・生徒会交流集会で各学校の代表者が、取組の交流や協議を行い、ネット問題の解決に向けた決意表明を行う。

時期：平成28年7月末～8月

場所：県内5会場（東部、中部1、中部2、西部、高知市）

対象：県内の小学校、中学校、義務教育学校、県立学校の児童会・生徒会の代表者各校2名と引率教員、保護者等

目的：「いじめ防止子どもサミット」、「ネット問題を子どもと大人で考える県民フォーラム」の成果をもとに、児童生徒が主体となったいじめ防止等の取組をいっそう進めるため、各学校の児童会・生徒会の代表者が集まり、ネットいじめを含むネット問題をテーマに、実践交流や協議を行う。

参加者数：1407名（うち、児童生徒659名）

実施内容：実践発表、異校種によるグループ協議、決意表明の交流等



2 児童会・生徒会を中心とした取組の推進

「各校での取組」

【取組の実施】

交流集会をきっかけに、各校の児童会・生徒会が中心となって、ネットいじめを含むネット問題に対して解決に向けた取組を行う。

〈実態把握〉

- ・アンケートによる実態把握を行い、取組を考える。
- ・使用時間のアンケートをとり実態を知った上で、ルールを話し合う。

〈協議〉

- ・スマホの使い方についての集会等をこれから開いていく。
- ・学級でネット問題について、具体的な話し合いをしていく。
- ・学級ごとにネットいじめの問題について話し合う。

〈学習〉

- ・いじめやネットの被害にあわないように学校で集会を開いたり、各学年でいじめやネットの事について学習したりする。

〈ルールづくり〉

- ・スマホなどの使用時間を決める。
- ・一日一つ目標を作る（いじめを止めるなど）。
- ・SSS宣言（「スマホは10時まで」等のルールづくり）。
- ・学校でスマホについてのルールを決める。
- ・テスト期間中のスマホの使用を控える。
- ・フィルタリングを設定する。

〈啓発〉

- ・友達との関わりも大切だけど、家族や地域との関わりも大切にしていく。
- ・スマ断（参加者が一定期間、スマホを使わないという取組）を行う。
- ・ケーブルテレビの協力による、情報モラルビデオの作成。
- ・ケータイの使い方についてのポスターを作り、校内に掲示する。



3 児童会・生徒会を中心とした主体的な取組の浸透

H29

- ・取組内容を全県的に交流する。
- ・交流した内容を各校に持ち帰り、**取組の充実を図る。**

H30

- ・市町村教育委員会と連携を図りながら、各校の取組を支援し、**児童生徒の主体的な取組の定着を図る。**

H31

- ・**ネットいじめを含むネット問題の解決に向けた、児童生徒の主体的な取組が、県内各校に定着する。**